

第 23 回優秀会社史賞 入賞作品 受賞のことば

## 『ヤマトグループ 100 年史』

このたびは、第 23 回「優秀会社史賞」に選出いただき、誠に有難うございました。

このような歴史と権威のある賞を頂戴できましたことを大変光栄に思うと同時に、主催の日本経営史研究所様、委員長の宮本名誉教授をはじめ、選考委員の皆さまに心より御礼申し上げます。

当社は、1919（大正 8）年、荷物を運ぶ手段が牛馬車や荷車であった時代に、創業者小倉康臣が自動車の将来性にいち早く着目し、トラックが必ず貨物輸送の主役になるという信念のもと東京・銀座で創業しました。

今回制作した社史は、創業 100 周年の記念事業として 2012 年から編纂業務を開始し、2019 年に記念誌「100 年のあゆみ」、2020 年に正史「ヤマトグループ 100 年史」の二種を刊行しました。正史は、「歴史を資料に基づいた経営史として編集する通史」として 31,000 部制作し、お客さまだけではなく全国の自治体、高校、大学の図書館に寄贈いたしました。記念誌は、「歴史をテーマごとに編集する物語」として英語版、中国語版（簡体字・繁体字）と合わせて約 44 万部を制作し、社員、お客さま、パートナー、企業、報道関係など各ステークホルダーに配布しました。

編纂は、昭和 6 年に創業者小倉康臣が制定した社訓の 1 か条である「運送行為は委託者の意思の延長と知るべし」という理念に則り、常にお客さまの立場に立ち、お客さまとともに歩み、支えていただきながら歩んできた会社として、その感謝の気持ちをお伝えする方針に基づいて実施しました。

社史編纂にあたっては、企画立案から刊行にいたるまで、数多くの方々に携わっていただきました。正史でもその方たちのお名前を紹介しましたが、改めてすべての関係者の方にこの場をお借りして感謝の気持ちをお伝えし、受賞の言葉といたします。

ヤマトホールディングス株式会社



ヤマトグループ歴史館において、100周年記念事業を担当した白鳥美紀と山下稔之